

事業所における放課後等デイサービスの自己評価結果(公表)

公表:令和6年4月25日

事業所名 個別療育センターコスマイル牧落

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。(保護者評価項目1)	100%	0%		時間帯によっては手狭に感じることもあるため、朝礼時にスケジュール表で確認するなどして十分なスペースを確保した上で安全に療育を実施できるように努めています。
	2	職員の配置数は適切であるか。(保護者評価項目2)	86%	14%	役割を決めたり、業務を分担したりして、業務効率化に努めています。	今後も負担が偏らないように、職員の一日の時間の使い方を書き出すなどして必要に応じて業務効率化の方法について検討し、取り組みます。
	3	事業所は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。(保護者評価項目3)	100%	0%		
	4	事業所は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。(保護者評価項目4)	100%	0%	日々清掃しています。	待合のトイレのスリッパを買い替えます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	71%	14%	必要に応じて、スピーディーに改善できるようにしています。	振り返りと改善に関する話し合いに不足がないよう、目標設定後は見直し時期(振り返り時期)を決めて業務改善に努めます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	100%	0%		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか(予定はあるか)。	100%	0%		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか(予定はあるか)。	57%	29%		事業所評価につきまして、職員一同で意見交換をしながら話し合い、その結果を外部評価にてご指導いただいております。今年度から大阪母子医療センター子どものこころの診療科副部長平山哲医師に外部評価をご快諾いただきました。当事業所につきましてご指導をいただきながら、より良い療育、より良い事業所運営を目指してまいります。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	100%	0%	資質向上のための研修については定期的に開催しています。	職員の資質向上のための研修については、アセスメントの研修や支援技法の研修など、研修を受ける機会があること、実践をする機会があることが当事業所の良さの一つであり、職員からも喜ばれています。より利用者様に還元できるように心がけていきます。
	10	職員は子どもの支援について意義を感じ工夫し楽しむことができているか。(保護者評価項目16)	100%	0%	支援に関する相談は活発に行われています。	今後も全職員が楽しく支援を行えるように、話しやすい雰囲気作りを大切にして、話し合いや相談の機会を多くとっていきます。
適切な支援の提供	11	アセスメントに基づき、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画書を作成しているか。(保護者評価項目5)	100%	0%		
	12	個別支援計画書にはガイドライン総則の基本活動や「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示された内容から必要項目が適切に選択され、そのうえで具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	個別支援計画案をもとにお子様一人ひとりを理解しよりよい支援を考えるため、職員全体で意見交換をしています。	今後も長期目標と短期目標のつながり、目標に対する支援方法の検討、今後の方向性など、複数の職員で考えて意見交換することで支援の質の向上につながるよう心がけていきます。
	13	個別支援計画書に沿った支援を行っているか。(保護者評価項目6)	100%	0%		
	14	支援内容を職員間で検討し、子どもの発達や課題の進捗状況、その時の状態等に応じて固定化しないよう工夫しているか。(保護者評価項目7)	100%	0%	支援内容については随時、職員間で共有・検討し、工夫しています。	今後もより一層、相談しやすい環境を整えます。効率的に多面的な視点で療育ができるように、使った教材を元あった場所に戻すことや職員のオリジナル課題などを全職員で活用できるように整えていきます。
	15	職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	86%	14%	毎日朝礼時に、その日の支援内容やそれぞれの役割などを確認しています。	役割分担については、事前に確認することなどを通して、それぞれの役割をより明確にします。
	16	朝礼や終礼などで支援の振り返りを行い、気付いた点等を職員間で共有しているか。	100%	0%	午後から出勤のスタッフにも回覧で伝えたり、個別に話したりすることで情報共有を徹底するようにしています。	今後も支援の振り返りや気付いた点などについて随時共有できるように努めています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しの必要性を判断しているか。	100%	0%		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	19 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議等とその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	86%	0%		相談支援事業所のサービス担当者会議には、担当と児童発達支援管理責任者で参加しています。2名が参加することで事業所としての対応についてご説明したり、担当としてお子様の様子などを具体的にお伝えしたりすることができ、関係諸機関でのご様子などもおうちがいで共有することができます。 保護者の仲立ちで園や学校との連携も行っています。お子様が毎日園や学校でどのように過ごしているのか、環境を実際に見ながら接している先生方のお話を伺うことは大変参考になり、ありがたいです。当所からも個別療育で何に取り組んでいるかをお話することで、双方の役割分担をしたり、お互いの支援に役に立てたりすることができます。複数回訪問した機関では支援経過を目にするのもでき、年度替わりには引継ぎもさせていただき、継続的な支援ができることもありがたいです。自分たちが目に見えるお子様の姿だけではなく、当所以外でのお子様の様子を知ることで、日常的な視点も含めた支援検討ができることは有意義なことだと考えています。 高校卒業により退所されるお子様についても、今後起こりうる状況をご本人と一緒に考え、卒業までの間に何を学びたいかをご本人と決めて活動に取り組んでいきます。 電話や見学の対応などについて質を向上させるために、マニュアルの作成などに努めています。
	20 園や学校などの関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	100%	0%		
	21 移行支援として、必要に応じて保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所、学校、特別支援学校等との間で、支援内容の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%		
	22 必要に応じて、学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか。	86%	0%		
	23 必要に応じて、他の児童発達支援センター、児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	86%	0%		
	24 電話対応、見学対応、契約対応等で、保護者に丁寧な説明ができているか。（保護者評価項目8）	86%	14%		
	25 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。（保護者評価項目9）	100%	0%		
	26 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援を行っているか。	100%	0%	フィードバック等でご家庭でできる対応などをお伝えしています。	
	27 個別支援計画書を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画書の同意を得ているか。（保護者評価項目10）	100%	0%		
	28 契約時、変更時には運営規定の内容や利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	86%	0%	契約時・変更時には読み上げて説明しています。	
	29 保護者の苦情、相談や要望に対して適切な面談や助言等の支援を行っているか。（保護者評価項目11）	100%	0%		
	30 子育て通信などの会報を発行する等して、支援に関する情報を子どもや保護者に対して発信しているか。（保護者評価項目13）	100%	0%		
	31 個人情報の取り扱いに十分注意しているか。（保護者評価項目14）	100%	0%		
	32 子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。（保護者評価項目12）	100%	0%		
	33 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。（保護者評価項目15）	100%	0%		
保護者への説明責任等	34 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		避難訓練につきましては、個別療育なので避難時に来所されている方が対象になりますが、火災避難訓練、地震避難訓練を行っています。避難経路の確認、発災時の対応につきましては全職員で毎年確認して研修をしています。訓練時の様子を写真などで利用者様全員に見ていただけるよう、掲示等で工夫したいと考えております。 契約時にアセスメント票を保護者にご記入いただき、年度更新で見直しをしていただいております。情報の漏れのないようにしております。 虐待防止や身体拘束等の適正化のための研修も職員全員対象に行っており、職員一同意識して取り組んでおります。軽微なものからヒヤリハットも共有しております。
	35 事前に服薬やアレルギー、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	36 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	37 必要に応じて、どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画書に記載しているか。	100%	0%		
38 ヒヤリハット事例を記録して事業所内で共有しているか。	100%	0%	非常勤スタッフも含め、全員で共有しています。フォーマットの完成でよりスムーズな共有が可能になりました。		